

東久留米の冬の川沿いなどで見られる野鳥の仲間No.1



〔サギ科コサギ・アオサギ・ダイサギ〕夏場など減少するが、一年中みられる留鳥。稀に『チュウサギ』、『ササゴイ』、『ゴイサギ』なども観察することがある。

〔ウ科カワウ〕カワウのくちばしには捕獲したばかりの魚種『オイカワ』が見える。同種が現れるとおこぼれを目指してサギの仲間が集まってくる。

〔カワセミ科カワセミ〕市内の川沿いを歩くと一度は目にする留鳥の代表種。黒目川および落合川を筆頭に立野川沿い、珍しい所では西妻川や白山公園、ひばりが丘団地内の小さな池、移動中なのか水場とは程遠い場所の電柱に止まっていることもある。

〔シギ科タシギ〕渡り鳥。長い嘴を持つジシギの仲間です。全長が25cmほど。身体の模様が川岸の枯草などと酷似しており、じっとしていると見分けが難しい。

〔クイナ科バン〕渡り鳥。市内では3年連続して観察。成鳥は体の色が黒っぽく体長30cm程、写真の個体は色が薄い灰色のため幼鳥と思われる。

〔カモ科カルガモ〕基本的に渡り鳥だが一部は留鳥として一年中観察できる。

東久留米の冬の川沿いなどで見られる野鳥の仲間No.2



カモ科オナガガモ



カモ科コガモ



カモ科ヒドリガモ



カモ科ヒドリガモ交雑種



カモ科マガモ



セキレイ科ハクセキレイ



セキレイ科セグロセキレイ



セキレイ科キセキレイ

〔カモ科オナガガモ〕渡り鳥。10月頃から翌3月頃まで観察できる。以前は多数観察できたが近頃は数羽観察できる程度。

〔カモ科コガモ〕渡り鳥。数は少ないが10月頃から翌3月頃まで観察できる。警戒心が強く離れた場所からカメラを向けても声を上げて直ぐに逃走する。

〔カモ科ヒドリガモ〕渡り鳥。10月頃から翌3月頃まで観察できる。市内河川において10羽以上の群れを複数カ所で観察できる。

〔カモ科ヒドリガモ交雑種〕今年、ヒドリガモの群れの中で、目の位置から後頭部にかけて光沢のある緑色の帯が付いたヒドリガモ？コガモ？と思える水鳥を観察。現在一個体生息しており、調べてみるとアメリカンヒドリガモとヒドリガモの交雑種と判明。是非目を凝らして観察してください！

〔カモ科マガモ〕渡り鳥。10月頃から翌3月頃まで観察できる。個体数は少なくいが稀に観察する事がある。

〔セキレイ科ハクセキレイ〕夏場前後は山地などへ移動している漂鳥の仲間。今の時季は水場や公園、道路など市内各所で観察できる。

〔セキレイ科セグロセキレイ〕夏場前後は山地などへ移動している漂鳥の仲間。秋から初夏頃まで水辺などで観察出来る。

〔セキレイ科キセキレイ〕夏場前後は山地などへ移動している漂鳥の仲間。セグロセキレイと同様秋から初夏頃まで水辺などで観察できる。